

07. ぱりっ子会議から市政への提言プロジェクト

実施主体：名張市役所 子ども家庭室

名張市をキレイに！みんなの意見を市長へ提言！

メンバー：大垣内友菜・田中深月
(2年 教育学部)

実施主体：名張市子ども家庭室

活動期間：5月から翌年2月まで



なばりん

ぱりっ子会議とは

ぱりっ子会議は、‘自分たちの住む名張市をよりよくしたい！’という思いを持つ小学生たちが中心となって、意見交流やイベントの企画をする活動です。私たちの役割は子どもたちのサポートですが、時にはぱりっ子会議の一員として、子どもたちと一緒に考えたり作業をしたりします！

月別活動

- 【5月】・自己紹介、ぱりっ子会議の説明
- 【6月】・提言内容についての話し合い
- 【7月】・提言内容の決定、今後の説明
- 【8月】・ぱりっ子モールの話し合い
- 【9月】・ぱりっ子モールへの準備
- 【10月】・ぱりっ子モールの最終準備、確認
- 【11月】・ぱりっ子モール本番

1年間の活動のまとめ・今後の活動

主な活動内容は「市長提言の内容を考える活動」と「ぱりっ子モールの準備・開催の手伝い」そして、「提言書の作成」です。

市長への提言について、子どもたちは、名張市をキレイな街にするにはどうしたらよいかについて、まずは意見交流を行いました。その結果、市民の方々に街の美化を呼びかけるポスターを作成することにしました。ぱりっ子会議の子どもたちと、一般応募してくれた子どもたちが作ったポスターをぱりっ子会議当日に掲示し、参加者に投票をお願いしました。今後、選ばれたポスターと、私たちがこれから作成する提言書を市長に届け、“名張市をよりよくしたい”という子どもたちの思いを伝えたいと考えています。

また、11月23日に開催されたぱりっ子モールでは、子どもたちのサポートをしました。意見がまとまりづらい時には、一人ひとりの意見を聞いて回ったり、話し合いが円滑に進むように手助けをしました。本番には、カフェのチームに入り、カップケーキ・クッキー・牛汁を一緒に作ったり、名張市のゆるキャラ「なばりん」になったりして会場を盛り上げ、無事に終えることができました。今後は今年度の振り返りを行い、次年度へ活動を引き継いでいきます。

活動を通して学んだこと

話し合いの場では子どもたちからの多様な意見や考えに触れ、様々な視点から物事を考えることの大切さを学ぶことができました。自分たちにはない発想力に感心すると同時に、それらのアイデアを引き出すことやうまく整理することの難しさを学びました。参加してくれた子どもたちや、活動を支援してくださった名張市の方々と一緒に活動できたことはとても貴重な経験でした。限られた時間の中で、子どもたちと共に、“アイデアを形にする”ということの楽しさや大変さ、そして、サポートするということの重要さを実感することができました。



<こんな人におすすめ>

- ・自分の地元に貢献したい人
- ・小学生と関わる機会が欲しい人
- ・市の職員の方々に話を聞いてみたい人